

「五日月の横顔」

「先生、五日月にはちゃんと鼻が見えました!」と、3年生の子が言いに来ました。この子の観察力はすばらしいです。第一に、月の形状の微妙な凹凸を見落としていないこと、第二に、「三日月」ではなく、正確に「五日月」と言っていることです。この子が気づいた、「五日月の鼻」とは、どんなものなのでしょう?

月はさまざまなオブジェや商品、それに企業の意匠にも使われます。特に三日月は、形状だけで「月」とわかるので、多用されています。しかし三日月はトレードマークにするには細すぎる月なので、実際は五日月あたりの大きさのものが多いようです。たとえばこんな感じです。



かわいらしいものから、ちょっと怖い感じのものまで様々です。一番左は、家庭用品メーカーのお馴染みのマークですね。こんな顔は実際の月では**あり得ないっ!**と思っていたら、五日月にはちゃんと鼻がついているのです。これも「月面の地形」を実感できる、一つの現象と言えるでしょう。



「三日月(左)と五日月(右)」 五日月には月の地形の凹凸で、ちゃんと「鼻」があります。
(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)